

みんなで考え、実行する

「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（令和元年度・令和2年度）」

～自律的・主体的で実効性のある行財政改革～

令和元年度の実績について

「みんなで考え、実行する 鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」令和元年度の実績について、以下のとおり報告します。

1 計画の策定趣旨

少子高齢化・人口減少の進展、地方分権の推進、社会経済状況の変化など市を取り巻く環境が大きく変化していく中で、将来にわたって安定した行政サービスが提供できる体制や仕組みを構築していくために、引き続き、行財政改革に取り組んでいく必要があります。このため、～みんなで考え、実行する～「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」（令和元年度・令和2年度）を策定しました。

2 推進方法

行財政改革のコンセプトとして、前計画の「みんなで考え、実行する行財政改革」を継承するとともに、新たなテーマとして「自律的・主体的で実効性のある行財政改革」を設定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

計画の推進にあたっては、行財政改革をテーマとした職員研修・車座集会・部局長会議での情報共有・行革情報共有会議（所属内会議）などを機会として、職員の目的意識の醸成を図るとともに、職員一丸となって取り組んでいきます。

3 計画の柱と取組み項目

計画には、「①歳入増のための取組み」、「②歳出抑制のための取組み」、「③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み」の3つの柱を掲げており、それぞれの柱ごとの取組み項目及び計画に掲げた計画期間中（令和元年度・令和2年度）の見込まれる効果額の目標は次のとおりです。

柱	取組み項目	効果額の目標(2年間)
柱①歳入増のための取組み	16 の取組み	2 億 4 千万円以上
柱②歳出抑制のための取組み	17 の取組み	8 千万円
柱③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み	18 の取組み	—
全体	51 の取組み	3 億 2 千万円以上

4 令和元年度における達成状況

(1) 数値目標に対する実績

	目標	実績	状況
① 行財政改革効果額	125,477 千円	336,341 千円	達成
② 経常収支比率	95%未満	96.2%	未達成 ※
③ 財政調整基金残高	18 億円以上	2,497,066 千円	達成
④ 財政健全化判断比率	早期健全化基準未満	早期健全化基準未満	達成

※行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いることとしています。この数値は96.2%ですが、実際の経常収支比率は、主に公債費(元金の償還)や繰出金等が増加したため、前年度より2.0ポイント上昇し97.9%となっています。今後も健全な財政運営を維持していくためには、全庁的に状況を共有し、経常的な経費の抑制と意識改革・業務の見直しなどを行っていく必要があります。

(2) 行財政改革効果額の詳細

No	柱	取組み項目	目標	実績
2	①	市税の収納率向上	58,756 千円	216,394 千円
3	①	国民健康保険料の収納率向上	14,494 千円	19,243 千円
5	①	放課後児童クラブ保護者負担金の収納率向上	60 千円	0 千円
6	①	介護保険料の収納率向上	1,787 千円	12,690 千円
7	①	公共下水道料金の収納率向上	1,140 千円	22,348 千円
8	①	学校給食費の収納率向上	460 千円	0 千円
9	①	手数料・使用料の見直し	—	—
10	①	未利用地の売却促進と有効活用	5070 千円	9,210 千円
12	①	デジタルサイネージの導入	3,680 千円	3,831 千円
16	①	市ホームページへの有料広告の掲載	0 千円	0 千円
25	②	時間外勤務の抑制	40,000 千円	52,625 千円
33	②	公園、緑地の樹木伐採・剪定に伴う幹や枝のチップ化(可燃ごみの縮小)	0 千円	0 千円
合 計			125,477 千円	336,341 千円

(3) 財政健全化判断比率の詳細

令和元年度財政健全化判断比率

区分	国が定める早期健全化基準(%)	鎌ヶ谷市実績(%)
①実質赤字比率	12.52	—(赤字なし)
②連結実質赤字比率	17.52	—(赤字なし)
③実質公債費比率	25.0	3.4
④将来負担比率	350.0	27.8

5 計画期間1年間（令和元年度）の数値目標に対する達成状況

計画に掲げた数値目標のうち、「行財政改革効果額」については、令和元年度の実績が計336,341千円で、単年度の目標額である「125,477千円」を上回る結果となりました。

経常収支比率を除く2つの数値目標（財政調整基金残高、財政健全化判断比率）についても、令和元年度は目標を達成している状況です。

区 分		R01	R02	期間全体
行財政改革 効果額	目標	125,447 千円	198,663 千円	324,110 千円
	実績	336,341 千円	—	—
	達成状況	達成	—	—
経常収支 比率	95%未満	96.2% (97.9%)	—	—
	達成状況	未達成	—	—
財政調整 基金残高	1,800,000 千円以上	2,497,066 千円	—	—
	達成状況	達成	—	—
財政健全化 判断比率	早期健全化 基準未満	基準未満	—	—
	達成状況	達成	—	—

※経常収支比率欄の括弧書きの数値は、実際の経常収支比率の値

6 計画期間（令和元年度）の取組み結果について（全51項目）

《全体評価》

令和元年度における51の取組みに関する全体評価は、次の表のとおりです。

区分	評価区分	取組み項目数	備考
1	終了	1	完了し、終了する
2	廃止	0	計画期間内における検討を終了
3	休止	0	計画期間後の再開を前提に休止
4	縮小	0	規模を縮小
5	改善	1	実施方法等を改善し継続
6	精査・検証	49	実施内容を精査・検証し継続
7	拡充	0	重点的に資源等を配分し規模拡大

①終了とした取組：1項目

柱	取り組み項目名	評価の理由
③	プロジェクトマネージャー制の活用 (企画政策室・人事室)	会計年度任用職員制度に移行することから、終了する。

②改善とした取組：1項目

柱	取り組み項目名	評価の理由
①	企業誘致の推進 (商工振興課)	不動産会社との連携に加え、金融機関との連携も強化し実施するため、改善とした。